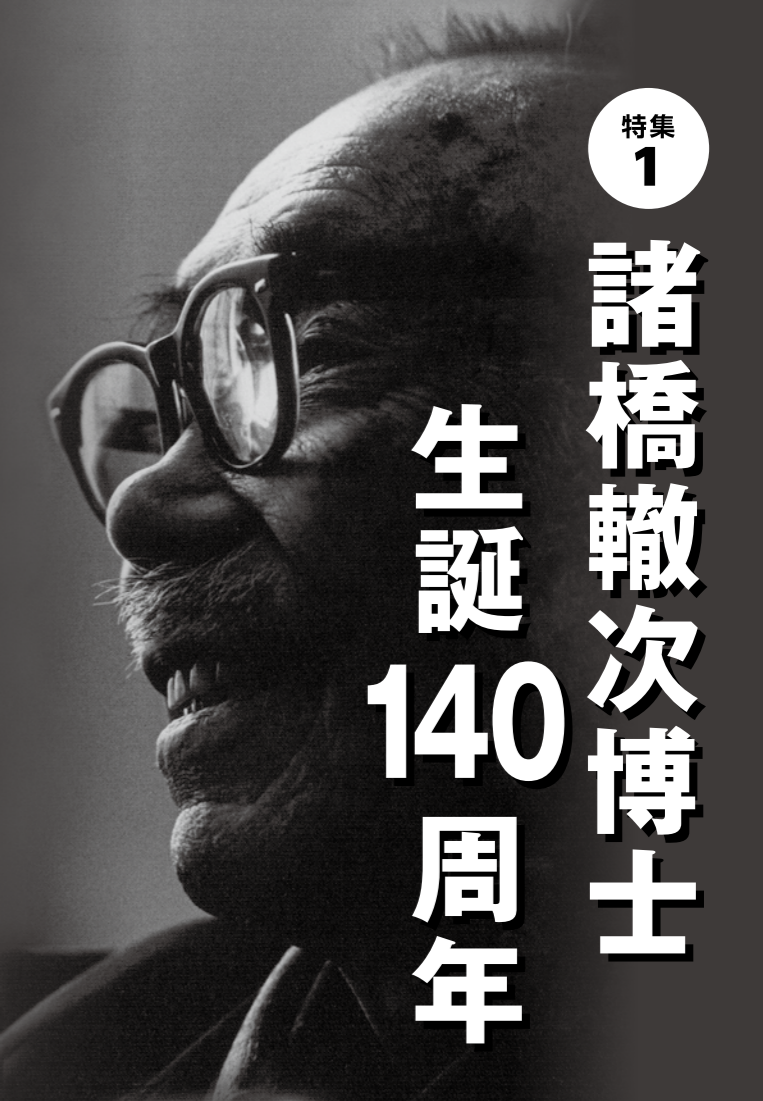


生誕140周年



今年、三条市名誉市民で「大漢和辞典」の編さん者である諸橋轍次博士の生誕140周年です。これを記念して記念事業を行います。郷土が生んだ偉大な博士の功績に触れてみませんか。

諸橋轍次(1883-1982年)

明治16年6月14日、下田地域の庭月に生まれました。父の影響で幼少期から漢学に触れ、教師を目指して東京高等師範学校に入学。卒業後は教師をしつつ漢学の研究を深め、当時の文部省から中国留学を命ぜられます。帰国後、大漢和辞典の編さんを始めるものの、東京大空襲で資料を焼失しました。また、博士自身は右眼を失明、左眼は明暗が分かる程度でした。

その頃、当時の宮内省から皇太子明仁親王殿下(現在の皇陛下)への漢学のご講義を委嘱され、浩宮様(現在の天皇陛下)ご誕生の際にはお名前選びの一人になりました。

昭和35年までに、大漢和辞典全13巻を刊行。昭和37年、下田村名誉村民に選ばれたほか、昭和40年に文化勲章、昭和51年には勲一等瑞宝章を受章。昭和57年、老衰のため99歳で永眠されました。

郷里を愛し続けた博士

博士は、毎年帰郷しては地域の人々とのふれあいを大切にしています。自分の話に、子どもから大人までが聞き入って楽しんでる様子に、目を細めて喜んでいました。同級生は博士のことを「いくら出世して偉うならしても、頭の低い、あつたかい気持ちの人でいらした。」と語っていました。



座右の銘「行不由徑」

行くに徑《こみち》に由《よ》らず。徑は小道、すなわち近道のことです。この言葉は近道せずに大道を一步一步進むという意味です。いくつもの困難に直面しながらも、30年以上の歳月をかけ大漢和辞典を



編さんし、教育と漢学研究に生涯を捧げた博士の人生は、まさにこの言葉を買ったものでした。

生家

諸橋轍次記念館の敷地内には、博士が14歳まで過ごした生家と、大漢和辞典の編さんを行った遠人村舎があります。文化財として大切に保存し、一般公開しています。



諸橋轍次記念館

博士の人徳を偲ぶ人たちから寄せられた作品や貴重な資料を展示・収蔵しています。博士の生涯や業績を紹介するコーナーや、「漢字でのひらクイズ」など子どもも大人も楽しめる施設になっています。



諸橋轍次博士

生誕140周年記念ピックアップ事業

申し込みが必要なものは、諸橋轍次記念館(☎47-2208)に電話で申し込みください。

展示

●常設展示室 無料開放

博士の誕生日に合わせて無料開放します。

とき 6月4日(日)

●常設展示室 企画コーナー

年間を通じて特別展を開催。

6~8月のテーマは「教育者 諸橋轍次」です。

講演

すべて諸橋轍次記念館で開催します。

●特別記念講演

申し込みは不要です。

「諸橋轍次博士から受けた学恩感謝の辞」

とき 6月4日(日)午後2時~3時30分

講師 (公財)静嘉堂

静嘉堂文庫長兼美術館長 河野元昭 さん

「きょうがくあいちょう 教学相長ず -教育者としての諸橋轍次博士-

とき 6月11日(日)午後2時~3時30分

講師 全国漢文教育学会副会長 塚田勝郎 さん

●三条市立大学 公開講座

申し込みが必要です。

「諸橋轍次博士の生涯と大漢和辞典の編さん」

とき 6月16日(金)午後2時~3時

講師 編集者、ライター えんまんじ 円満字二郎 さん

定員 会場50人、オンライン80人

その他

●第6回諸橋轍次記念 漢字文化理解力検定

とき 10月1日(日)

●第15回諸橋轍次博士記念 漢詩大会

とき 11月11日(土)・12日(日)

漢字文化理解力検定と漢詩大会は、7月31日(月)までに応募が必要です。

*その他の記念事業もあります。詳しくは諸橋轍次記念館ホームページで確認ください。

諸橋轍次記念館

所在地 三条市庭月434-1 ☎47-2208

利用時間 記念館 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
諸橋博士生家、遠人村舎は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~翌年1月3日

入館料 高校生以上 500円

(個人) 小・中学生 200円

*本紙8ページの「文化・観光施設共通割引券」が利用できます。



諸橋轍次記念館
ホームページ